

第 46 回環境審議会（8 月 4 日）で出された意見

委員意見	骨子案における対応
1 明石市のめざす環境像について（骨子案該当ページ：P 15）	
<p>(1) 叙情的で長い。</p> <p>(2) 環境に直接には結びつかないフレーズ（にこやかに集う、思いやりなど）がある。もっとストレートに環境に結びつく文章でいいのではないか。</p>	<p>めざす環境像は、環境だけではなく経済、文化などとのバランスを考えた文章になっています。</p> <p>そのため3つの文章はそのまま残し、短いキャッチフレーズを追加しました。</p>
2 計画の基本理念について（骨子案該当ページ：P 16）	
<p>(1) 環境と直接結びつかない。1番目と3番目は他の計画でも基本理念で使えそう。</p> <p>(2) 「明石らしさ」とは何か。具体的な記述が必要ではないか。</p>	<p>それぞれの基本理念に、説明文を追加しました。</p>
<p>(3) 「環境にやさしい」より「環境調和型」という表現にしてはどうか。</p>	<p>基本理念の2を、「環境に調和した」に修正しました。</p>
<p>(4) 3月の東日本大震災は、ライフスタイルに変化を与える大きな転機になった。震災を受けて、環境がどう関わっていくのか、という視点が必要ではないか。</p>	<p>4つめの基本理念として、東日本大震災を受けて環境がどう関わっていくのか、という記述を追加しました。</p>
3 基本方針について（骨子案該当ページ：P 17）	
<p>(1) 現行の計画では、めざす環境像の次に、基本方針が定められている。次期計画でも基本方針が必要ではないか。</p>	<p>基本方針を追加しました。</p>
4 施策の体系について（骨子案該当ページ：P 18）	
<p>(1) 「低炭素社会」などとレベルをあわせるなら環境リスクの少ない社会ではなく、「安全・安心社会」にするべき。</p>	<p>「安全・安心社会」に修正しました。</p>
<p>(2) めざす環境像、基本理念と、施策の体系の関係がわかりにくい。相関関係がわかる立体的な図を追加してはどうか。</p>	<p>それぞれの関係が分かるように、P 14に図を作成しました。</p>
<p>(3) 環境問題は、公害問題から端を発した。公害問題は解決されたかのように思われるが、外せない事項。安全・安心社会が、4つの社会の一番上でいいのではないか。</p>	<p>安全・安心社会が他の3つの社会の根幹になると考え、P 14の図の中で3つの社会と、その根幹となる安全・安心社会を、立体的に表現しました。</p>